

Janmadin kī Jay Jay!

ジャンマディン・キー・ジェイ・ジェイ！

グルマーイの誕生日のお祝いの報告
シュリー・ムクターナンダ・アーシュラム
2016年6月23－30日

第2部

歓喜を声にする バーギャ・デイリー

6月23日にグルマーイとのシッダ・ヨーガ・チャンティング・サツァングが行われると知って、私はとても嬉しくなりました。音楽部門の訪問セーブアイトとしてシュリー・ムクターナンダ・アーシュラムに先週到着してからというもの、グルマーイの誕生日のお祝いに向けた私の熱意は日に日に高まってきていました。

私はシュリー・ニーラーヤに入り、ミュージシャンの一団と共に自分の席に着きました。ホールの中の雰囲気は、期待で沸き立っていました。その場の空気は明るく華やかで、活気がありました——文字通りにも、比喩的にも。グルマーイの椅子の周りの空間は黄色みがかかったピンクの光で明るく照らされていました。椅子の両側には、とてもたくさんの色とりどりの花が飾られており、その日の明け方に見た朝日の色を思い起こさせました。赤紫色のシャクヤクや、黄色みがかかった赤・ピンク・オレンジのバラ、鮮やかな赤紫色のランの花々。サツァングの参加者たちは、色とりどりの一番上等のサーリー、スーツ、サルワール・カミーズで盛装していまし

た。彼らの会話までもが華やかでした。彼らはお互いに温かくあいさつを交わし、グルマーイとのチャンティングについての興奮を語り合っていました。彼らの多くはマハーラクシュミー・プージャーのそばの入り口を見ながら、グルマーイの到着を今か今かと待ち望んでいました。

そしてついに待ち望んでいた時がやってきました——グルマーイがホールに姿を現したのです。一人の参加者が「サッドグルナートゥ・マハーラージ・キー・ジェイ！」と叫びました。私たちは皆、私たちのグルへのこのあいさつに加わり、「サッドグルナートゥ・マハーラージ・キー・ジェイ！」と3回言い、一番最後の回の声は最高潮に達しました。歓呼と拍手はホール中に鳴り響きました。辺りは恍惚(こうこつ)とした雰囲気でした。グルマーイは、輝くばかりの笑みをたたえて席に着きました。

サツァングの司会であるミーラ・ロウブ・ザピロは演台に立ち、私たちを代表して、グルマーイに誕生日のお祝いを述べました。それからミーラは、私たちの方を向いて、「ジャンマディン・キー・ジェイ・ジェイ！」と大きな声で言いました。彼女は、この言葉の「ジェイ・ジェイ！」を特に強調して元気よく言い、私は即座に「ジャンマディン・キー・ジェイ・ジェイ！」と返しました。それは、素晴らしい旋律でもあり、歓喜にあふれた表現でした。そしてそれは、少し前に私たちが歓呼した「サッドグルナートゥ・マハーラージ・キー・ジェイ！」から自然に流れ出たものでした。

ミーラは、この美しい言葉がグルマーイの誕生日のお祝いのための表題であることを告げました。彼女は、「ジャンマディン」はヒンディー語で「誕生日」、「ジェイ・ジェイ」は勝利と勝利の叫び声であると説明しました。つまり、「偉大な存在、シッダ・グルの誕生に栄光あれ！ グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダ！」という意味です。私はミーラの説明を聞いて「なんて完璧なんだろう！」と思いました。

この言葉で、私たちは歓喜や、このお祝いに至るまでの日々、時間、瞬間の中で高まってきた期待を声に出すことができたのです。それは、私たちがすでに感じていたことをまさに言い表すものでした。

グルマーイの誕生日のお祝いのための、その言葉の意味と重要性を皆が知ったところで、ミーラはもう一度それを言うことに私たちに誘(いざな)いました。「ジャンマディン・キー・ジェイ・ジェイ！」と、私たちは、今度はさらなる確信とそれ以上の喜びをもって叫びました。

ミーラは続けて、「ジェイ・ジェイ！」がとても意味深いものを称賛していることを説明しました。

グルマーイは、ほほ笑んで「おや、『とても意味深い』といえば、リラヴァティ・スチュワートが何か話すことがあるようです」と言いました。ミーラは、オーストラリアのメルボルンから訪れているセーヴァイトのリラヴァティを、前に出てくるようにと招きました。リラヴァティは、6月の満月は「ストロベリームーン」として知られていると説明しました。今年、2016年は、その鮮やかなピンクがかった満月と6月20日の夏至が重なったのです。

私はこの珍しい出来事を聞いたとき、なんと自然は毎年、バースデー・ブリス(誕生日の至福)を祝う特別な方法を持っているのだろう、と思いました。それは今週、自然がその豊かさを余すところなく見せているシュリー・ムクターナンダ・アーシュラムの敷地を歩き回ったときに、私がすでに思っていたことでした。木々の葉は、青々と茂っています。どこを見ても、多くのさまざまな大きさや色——ピンク、紫、青、オレンジ——の花が咲いているのを見かけます。チョウはあちらこちらで舞い、蜂は飛び回っています。すべてが、みずみずしく輝いています。

リラヴァティがストロベリームーンの話を終えると、ミーラは、サツァングに参加している子どもたちと彼らの素晴らしい家族を共に歓迎しました。子どもたちは、満面の笑顔でミーラの歓迎を受け取りました。彼らの輝く笑顔は私の心に触れ、子どもたちの喜びと優しさにつられて私もほほ笑み、私の周りの人たちも皆笑みを浮かべました。ミーラが続けて、この朝に自然から受け取った贈り物——鳥の鳴き声、日の出——について述べると、子どもたちは自分たちが気づいたことについて口を挟みました。

それからミーラは、私たちが受け取ったもう一つの輝かしい贈り物について話しました。シッダ・ヨーガの道のウェブサイトの「サッドグナ・ヴァイバーヴァ——美徳の輝き」という形でグルマーイから受け取った贈り物です。バースデー・ブリスの期間中の毎日、私たちにはグルマーイが選んだ素晴らしい美徳を一つずつ学ぶ機会が与えられてきました。

ミーラは言いました。「今日の美徳は、steadfastness 揺るぎなさ、2016 年のグルマーイのメッセージを直接思い出させてくれる美しい言葉です」

Move with steadfastness

toward becoming

anchored

in Supreme Joy

至高なる喜びに

定着するように

揺るぎない心をもって

動きなさい

ミーラは続けました。「私は、美徳がグルマーイのメッセージを実践する直接的な手段であることを学びました。私は、美徳をいつでも頼れる親友のように思ってい

ます。あるときは、人生は笑いのためにあることを思い出すために、喜びのような陽気な友人が必要になります。あるときは、力強く立つために、勇気の助けを借ります。そして、静けさが私と共にいてくれるときもあります。これらの美德は、いつでも手の届くところにあります。私の中にその一つ一つを収める宝庫があることを、私は知っています。私がすべきことは、美德を思い出して実践することだけです。グルマーイ、それを私に教えてください、ありがとうございます。サッドグナ・ヴァイバーヴァという神聖な美德の贈り物を、ありがとうございます」

次へ続く...